正の範囲でなめらかな函数 $f(x, y; \rho)$ は存在しないのではなかろうかという気がするが未だその証明にも成功していない。

尚この機会に２６年度の私の労作（講究録発表の分）中ミスプリントの訂正をさせて頂きたい。

７巻６号２４５頁下から５行目 " *Sample* が小 ------ " は " *Sample* が得られる確率が小 " の誤り，

７巻８号３１５頁１行目

$$\exp\left\{-\frac{1}{2\sigma^2}\psi\psi^*\right\} \text{ は } \exp\left\{-\frac{1}{2\sigma^2}\psi^*\psi^*\right\}$$

の誤り。

以　上

13. *Sinusoidal limit law* に就いて

樋口　順四郎

Slutzky は１９２７年に $\cdots\cdots Z_{i-1}, Z_i, Z_{i+1}\cdots\cdots$ が *parameter* n に依存する法則に従う確率変数３４で，
$EZ_i = 0$, $EZ_i^2 = \sigma_z^2 = f(n)$, $EZ_iZ_{i+t}/\sigma_z^2 = r_t = \varphi(t, n)$
であれば n が大きくなる時 $|r_1| \to R_1 < 1$ かつ $\Delta^2 Z_i$ と Z_{i+1} の相関 ρ_1 が $\to 1$ であれば $Z_i, Z_{i+1}, \cdots Z_N$ がある *sinusoid* を生成することを証明した。

上記の條件を満足する $\cdots\cdots Z_i, Z_{i+1}, \cdots\cdots$ は *Sinusoidal limit law* に従うと言ふ． 上記の條件 *Romanovsky* も注意したように $r_1 \to R_1$, $r_2 \to R_2 = 2R_1^2 - 1$ と同値であるからこれを換えば *discrete stochastic process* の系列が $n \to \infty$ の時に *rank* 2 の *Wold* の意味の *singular process* に收斂することになる。